

公募制自己推薦入試 過去問題 2024

建築学部

建築学科建築学系
建築学科都市生活学系

※問題は2024年度入試のものです。

建築学部 建築学科

管理番号：A-26

2024年度 神奈川大学 公募制自己推薦入学試験

【総合問題】

建築学部 建築学科（建築学系／都市生活学系）

【試験時間 90分】

以下のAからDの問題の中からひとつ選択して答えよ。答えの前に、選択した問題の記号を書くこと。

A：小論文

古代ローマの建築家であるウィトルウィウスが「建築は用強美の理が保たれるように造られるべきである」と述べているように、一般に建築には機能性や快適性、強度、美しさなどが求められる。一方、我が国の特殊性として、火山活動や地震活動が世界でもとりわけ活発であることが挙げられ、これらの自然災害によって古くから尊い人命が失われている。

建築学を学ぼうとする者として、建築としての「用強美」を満足させつつ、防災・減災対策として考えていることを、1000字程度の小論文としてまとめよ。

B：小論文

近年、地球温暖化現象が顕在化している。人口が密集し様々な活動が繰り返られる東京などの大都市では、郊外に比べて年平均の気温が次第に高くなり、夜間になっても気温が下がらない傾向が観測されている。また、夏季の温熱環境の悪化と共に、集中豪雨などの異常気象も目立ってきており、エネルギー消費量の増大や価格高騰などにも波及している。

この「地球温暖化」を英訳せよ。また、その幾つかの原因と仕組みについて説明すると共に、建築分野からこの問題の低減に寄与できる幾つかの方法と理由を述べ、1000文字程度の小論文としてまとめよ。

C：小論文

近年、地震や台風などの自然災害による難を逃れるために、住み慣れた住居から一時避難し、共同生活や仮設住居で生活することを余儀なくされる場合がある。このような特殊な環境においては、そこでの生活に慣れることができず、精神的にダメージを受ける場合もある。自然災害がより身近となった現在、避難した人々が不安なく安全に生活できる仮設の場は重要である。

建築学を学ぼうとする者として、避難時の生活の場を計画する際に、どのような点に注意し、またどのようなデザインや設備を用意すれば安全で健康的な生活が可能となるのか、提案を含めて1000字程度の小論文としてまとめよ。

D：ドローイング（デッサン）

記憶に残る建築物（美術館、図書館、学校、オフィスビルなど）をひとつ挙げ、ドローイング（デッサン・作図）によって解答用紙いっぱいに表現せよ。ドローイングの内容は、外観や内部の様子、あるいは平面図など自由に考えてよい。複数の図を組み合わせてもかまわない。なお、その建物の解説（設計者、建設地、建築年代、建築用途、特徴など）を100字程度で用紙の下部に記述すること。記憶の正確さは求めておらず、実際と異なる部分があっても問題ない。できるだけ、その建物の良さや特徴が分かるように表現すること。